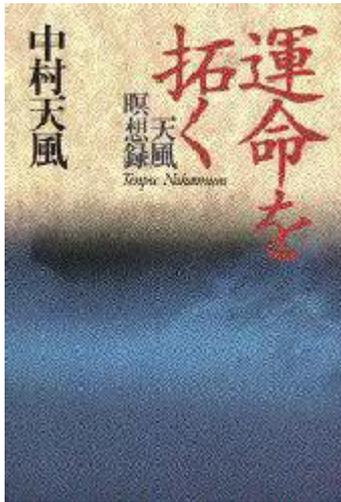


職員オススメ本 8月

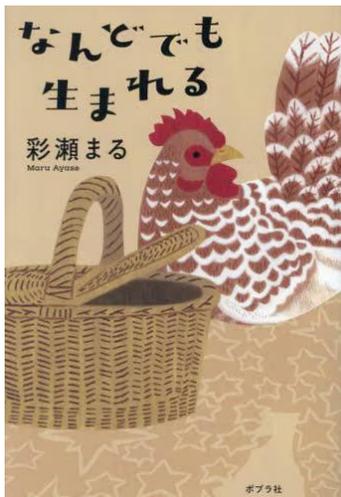


「運命を拓く」 中村 天風／著 講談社

本書は、メジャーリーグの舞台で『二刀流』で活躍する大谷選手の愛読書として知られています。

著者の中村天風は、実業家、講演家、思想家として活躍し、松下幸之助（パナソニック創業者）や稲森和夫（京セラ創業者）など、多くの人々に影響を与え、その教えや名言は、経営者や著名人にも深い感銘を与えています。

著者が失意の果てに旅先で偶然に会ったヒマラヤのヨガの聖者に導かれ、遂に得た、「積極的人生」を説く感動の教えです。



「なんどでも生まれる」 綾瀬 まる／著 ポプラ社

外敵から襲われて逃げ出したところ、茂さんに助けられたチャボの桜さん。茂さんもブラック企業で心身を病んでしまい、東京下町商店街でジイチャンが営む金物店に居候していた。茂さんを元気にしてあげたい桜さんは、彼を外へ連れ出してくれる相手を探しに出かけ、行く先々で様々な出会いを引き寄せるのだった。

チャボの桜の視点で進んでいく、キュートでユーモラスなチャボ小説。



「もぎりよ今夜も有難う」

片桐 はいり／著 キネマ旬報社

みずからの出自を問われたら「映画館出身です！」とはりきって答えたい。学生時代、映画館でアルバイトをしていた俳優・片桐はいりが、映画と映画館への今も変わらぬ想いをあますことなくつづる。

軽快で読みやすい文章です。